

K 3 0 9 5

S A T Aハードディスクコピーマシン

取扱説明書

(有)デンソー

2 0 1 4 . 0 1 . 2 8

目次

はじめに	-----	2
製品概要	-----	2
使用上の注意	-----	2
梱包内容の点検	-----	3
ユーザー登録カード	-----	3
第1章 基本ハード仕様	-----	4
1.1 ケース	-----	4
1.2 ブザー	-----	6
1.3 LED表示	-----	6
1.4 操作スイッチ	-----	7
1.5 付属品	-----	7
1.6 HDDのセット	-----	7
第2章 操作	-----	8
2.1 コピー機能	-----	8
2.2 HDDドック機能	-----	9
第3章 基本仕様	-----	10
3.1 動作仕様	-----	10
3.2 ハード仕様	-----	10

(有)デンノー 〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-15 吉田ビル202
TEL: 03-3493-2876 FAX: 03-3493-2954

<http://www.dennou.info>

はじめに

このたびはハードディスクコピーマシン*K3095*をお買いあげいただきましてありがとうございます。

*K3095*を正しくご使用いただくため、この説明書は必ずお読みください。またお気付きの点などございましたら、ご遠慮なく連絡くださるようお願いいたします。

製品概要

ハードディスクコピーマシン*K3095*は、SATAインターフェース用ハードディスクの1対4のコピーマシンです。SATA（シリアルATA）インターフェースを持つHDDのデータをコピーできます。

フォーマット形式に左右されずに全てのセクターをコピーできます。コピー速度は1Gバイト当たり最速12秒程度（理論値）です。

*K3095*は、パソコンとUSBで接続できるHDDドックとして使用できます。最大5台のHDDをパソコンの外部ドライブとして接続できます。

※ HDDはハードディスクドライブの略です。

使用上の注意

1. 本機は著作権法で許された範囲のコピーを目的として使用するものです。著作権法で許されない目的に使用しないでください。
2. ソースHDDとターゲットHDDを正常に接続しているのにHDDを認識できないときは、*K3095*のSATAコネクタに対するHDDの差込が不足していないか確認してください。
3. ソースHDDよりわずかでも容量が少ないターゲットHDDにはコピーできません。接続後にエラーとなり、コピー動作がスタートできない状態になります。
4. コピー動作を中断して停止する操作方法はありません。やむおえず中断するときは本機の電源スイッチを切って下さい。
5. 本機は単純なコピー機能しか持っていません。比較機能、使用セクタのみコピー、拡大コピー、データ消去機能はありません。

梱包内容の点検

K3095がお手元に届きましたら、輸送上の破損や欠品が無い点検してください。
もし破損、欠品等ございましたら、電話連絡後、前ページの住所までご返送ください。

K3095梱包内容

1. K3095本体	-----	1台
2. ACアダプタ	-----	1台
3. 電源コード	-----	1本
4. USBケーブル	-----	1本
5. ユーザー登録カード	-----	1枚
6. 保証書	-----	1枚
7. 取扱説明書(本書)	-----	1冊

ユーザー登録カード

ユーザー登録カードに必要な事項を書き込んだ後、返送してください。

新製品の発表、ハードやソフトの不良など(有)デンソーとお客様との大切な連絡手段となります。

第1章 基本ハード仕様

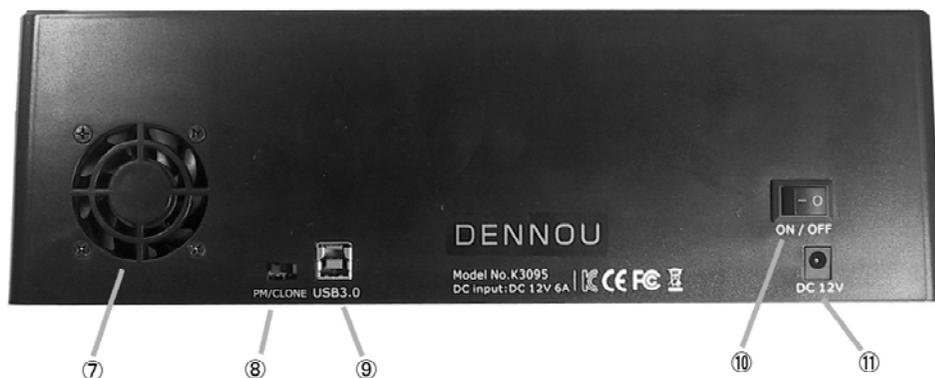
1.1 ケース



(1) 上面

- ① 電源表示用LED
電源がONの状態点灯するLEDです。
- ② HDD表示用LED
ソースとターゲットのHDDの接続状態を表示するLEDです。
- ③ コピー動作表示用LED
コピー動作中に課程を表示するLEDです。
- ④ [Clone] キー
コピー動作を開始するキースイッチです。
- ⑤ [Esc] キー
エラー発生時の警告ブザーを停止するキースイッチです。
- ⑥ HDD接続コネクタ
ソースとターゲットのHDDを接続SATAコネクタです。

(2) 背面



⑦ ファン

冷却用ファンです。

⑧ 機能切替スイッチ

コピー機能とHDDドック機能を切り替えるスイッチです。

⑨ USBコネクタ

HDDドック機能の時にパソコンと接続するUSBコネクタです。

⑩ 電源スイッチ

K3095の電源をON/OFFするスイッチです。

⑪ DCコネクタ

付属ACアダプタを接続するコネクタです。付属品以外は絶対に接続しないで下さい。

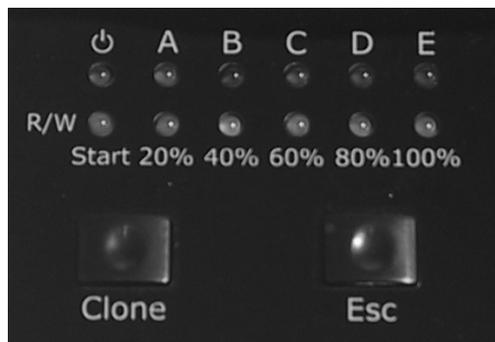
1.2 ブザー

コピー動作開始と終了やエラー発生を表します。エラー発生時は鳴り続けますので、[Esc] キーを押して停止して下さい。

1.3 LED表示

合計12個のLEDで動作や状態を表示します。

A～Eの5個のLEDは、ソースHDDと4台のターゲットHDDに対応しています。電源投入時に接続されているHDDをチェックして、該当するLEDが点灯します。



「Start」と「20%」～「100%」の6個のLEDはコピー動作の状況を表示するものです。コピースタート後は右表のように変化して過程を現します。

	LED (○:点灯・●:消灯)					
	Start	20%	40%	60%	80%	100%
動作過程	Start	20%	40%	60%	80%	100%
20%未満	点滅	点滅	●	●	●	●
20%～40%	点滅	○	点滅	●	●	●
40%～60%	点滅	○	○	点滅	●	●
60%～80%	点滅	○	○	○	点滅	●
80%～100%	点滅	○	○	○	○	点滅
完了	○	○	○	○	○	○

1.4 操作スイッチ

K3095の操作パネルには [Clone] と [Esc]の2個のキースイッチがあります。それぞれ、コピー動作の開始と、エラーブザーの停止に使用します。また背面には機能切替スイッチがあります。コピー機能とHDDドック機能の切替に使います。

① [Clone] キー

連続して2回押すことで、コピー動作を開始します。HDDドック時は無効です。

② [Esc]キー

エラー発生時に連続して鳴るブザーを止めるときに押して下さい。HDDドック時は無効です。

③ 機能切替スイッチ

「CLONE」側にスライドさせるとコピー機能で、「PM」側にスライドさせるとHDDドック機能になります。



1.5 付属品

付属品は純正な弊社製品を御使用下さい。同等と思われる他社の製品を御使用の場合、弊社製品の機能が発揮されないばかりでなく、誤動作や機器が壊れる原因になる場合があります。

1.6 HDDのセット

(1) ソースHDDの接続

「Source A」のSATAコネクタにソースHDDを直接接続できます。コネクタ手前に続く溝の左側壁にHDDの下側を当てて押し込むと容易です。

接続位置を間違えないようにしてください。ソースHDDをターゲット側にセットすると大切なソースHDDのデータが失われます。

(2) ターゲットHDDの接続

「Target B」～「Target E」の各SATAコネクタにターゲットHDDを直接接続できます。接続方法はソースHDDと同様です。接続台数が3個以下の場合、接続場所はどこでも構いません。このときソースHDDの容量より少ない容量のHDDをターゲットにすると、コピー機能時にエラーとなりますのでご注意ください。

注) K3095にソースHDDやターゲットHDDをセットしたり、取り外すときは、K3095の電源が切れている（電源表示用LEDが消灯している）のを確認してから行ってください。

第 2 章 操作

2.1 コピー機能

- (1) ACアダプタに電源コードを接続してください。
- (2) *K3095*のDCコネクタにACアダプタのDCプラグを接続して下さい。
- (3) 機能切替スイッチを「CLONE」側にスライドして下さい。
- (4) ソースHDDとターゲットHDDをセットして下さい
(「1.6 HDDのセット」参照)。
- (5) 電源スイッチをONにして電源を入れて下さい。電源表示用LEDが点灯します。
- (6) 電源が入ると自動的に接続されたHDDをチェックします。全てのHDDが正常に確認できれば該当するHDD表示用LEDが点灯して動作準備を完了します。このとき不良のHDDを発見したり、ソースより少ない容量のHDDを発見するとエラーになりますので、電源を切って確認して下さい。
- (7) [Clone] キーを2回連続で押して下さい。ブザーが「ピピ、ピピ、ピピ」と鳴ってコピー動作がスタートします。スタート後はHDD表示用LEDは消灯します。
(動作中の表示は「1.3 LED表示」参照)
- (8) コピーが正常に終了した場合、開始時と同等のブザーが鳴って停止します。電源スイッチをOFFにして、電源を切って下さい。
- (9) ターゲットHDDを取り外して下さい。
- (8) 他のHDDにもコピーする場合は(4)から繰り返します。
- (9) 終了する場合はソースHDDも取り外して下さい。

2.2 HDDドック機能

- (1) ACアダプタに電源コードを接続してください。
- (2) **K3095**のDCコネクタにACアダプタのDCプラグを接続して下さい。
- (3) 機能切替スイッチを「PM」側にスライドして下さい。
- (4) ソースHDDとターゲットHDDをセットして下さい（「1.6 HDDのセット」参照）。
- (5) 付属のUSBケーブルで、**K3095**とパソコンを接続して下さい。
- (6) 電源スイッチをONにして電源を入れて下さい。電源表示用LEDが点灯します。
- (7) HDDドック機能ではHDDのチェックは行いません。接続中の該当するHDD表示用LEDが点灯（アクセス中は点滅）するほか、[Start]LEDが全体のアクセスランプとなります。
- (8) 利用を終了する場合は必ずパソコンからアンマウントの動作を行って下さい。アクセス中にUSBケーブルを取り外したり**K3095**の電源を切断したりするとHDDの内容が壊れることがあります。

注1) 電源が入っている**K3095**をパソコンに接続した状態で、パソコンを起動しようとしても起動できない場合があります。このような場合は**K3095**を接続せずにパソコンを起動してから、上記手順に従って**K3095**を接続して下さい。

注2) パソコンから見た各HDDの接続順序は不定です。

第3章 基本仕様

3.1 動作仕様

①使用可能HDD容量

- ・ 1 G ~ 3 T (3 0 0 0 G) バイト

②コピー速度 (DISK COPY使用)

- ・ 理論値 1 Gバイト当たり12秒
- ・ 実測値 1 Gバイト当たり17秒 (Seagate 80G)

3.2 ハード仕様

①外形寸法

- 105 (H) × 330 (W) × 175 (D) mm
(コネクタなどの突起物は除く)

②重量

- 1.6 kg

③使用環境

- ・ 動作温度 5 ~ 40℃
- ・ 保管温度 -10 ~ 60℃
- ・ 湿度 20 ~ 80% (但し、結露しないこと)

④電源仕様 (ACアダプタ)

- ・ 入力電圧 AC100 ~ 240V
- ・ 入力周波数 50 / 60Hz
- ・ 出力 12V 6A